

2021.8.24 小田原記, 中島承認

日時：2021.8.17(火) 10:00~12:00 コンセルタワー「ふらっと」会議室  
出席：中島, 塚本, 河登, 中原, 原田, 大江, 仲山, 小田原 & 食トコメンバ(12名)  
欠席：井手, 小野, 武田, 芝間, 森野 (敬称略)

1. 発表内容 プロジェクターを使用して以下の発表あり

- (1) 気象変動とエネルギー問題 (広場 2020.10月号掲載)・・・中島さん
- (2) プラごみによる海の汚染の恐怖 (広場 2021.4月号掲載)・・・塚本さん
- (3) 地球環境サークル環境宣言 (広場 2021.6月号掲載)・・・小田原

2. 主な質疑 (メモ不十分で、抜け、誤りをご容赦ください)

- ・温暖化対策は大切。斎藤幸平「人新世の資本論」を読み、脱成長が今後の課題と思う。
- ・太陽光パネルで山林等の自然破壊も生じる。また将来、廃棄パネルの処理が課題。
- ・太陽光パネルは、保守や屋根の傷み、台風時の耐久性等の心配もあり。
- ・耕作放棄地等を利用した営農型ソーラーシェア(パネルの下で作物生産)が有効。
- ・日本は食料を輸入依存しているが、将来の食糧確保が心配。中国は食料自給率(特に小麦,大豆)を高める政策を取っている。
- ・食べ残しは問題。買物を週一程度に減らし無駄買いの抑制が必要。
- ・生ごみは燃えにくい。コンポスト等で堆肥化すると環境に優しい。市の補助金も出る。
- ・中国の習主席は食べ残し禁止を宣言。日本より食糧問題の危機意識が高い。
- ・CO<sub>2</sub>排出権取引(カーボン・ライジング)は南北間調整に有効で、地球全体で考えるとCO<sub>2</sub>削減に有効な取組み。
- ・米国の牛はホルモン剤を使うため、欧州・露・中国は輸入規制している。逆に日本は関税下げて輸入促進。日本の有害物質規制は甘い。これら問題を改善するには選挙しかない。
- ・賞味期限(美味しく食べられる)と消費期限(安全に食べられる)の違いを良く理解し買物すること。
- ・チェックシートは実行可能な項目と不可能な項目あり、点数の重み付けが必要では。
- ・太陽光パネルを設置し、電気代が少し助かっている。
- ・グリーンピープルズパワーの再エネ使用率は98%。電話一本で切換え可能。

3. 次回予定

- (1) 9月定例会 9/21(火) 9~11時 新所沢東公民館
- (2) 読書会(市民版環境白書2021グリーン・ウォッチ) 9/9(木) 10~12時 新所沢東公民館

以上